

## 科学研究費助成事業 研究成果報告書

平成 27 年 6 月 5 日現在

機関番号：15401

研究種目：若手研究(B)

研究期間：2012～2014

課題番号：24720166

研究課題名(和文)日本現存の旧鈔本『文選』に関する基礎的研究

研究課題名(英文)Examination of Extant Old Wen Xuan Manuscripts in Japan

研究代表者

陳 羽中(CHEN, Chong)

広島大学・文学研究科・准教授

研究者番号：50457412

交付決定額(研究期間全体)：(直接経費) 2,100,000円

研究成果の概要(和文)：本研究は、[1]日本における文選学研究成果の整理。[2]九条本、冷泉家本を中心とする旧鈔本本文の翻刻と書入注の整理。[3]文選集注及び周辺文献の研究。[4]国外文選学者との共同研究。という四つの研究テーマに分けて調査及び研究を行った。具体的には、以下の研究成果が得られた。『1993年～2011年日本学者文選研究成果索引』(電子版)を編纂し、国内外の学者に配布した。日本現存の旧鈔本文選資料を取り上げ、本文の翻字及び書入注の整理を行った。『集注文選』の本文研究を行い、現存する巻帙に見える唐代各注本の原型を推定した。来日中の海外学者を招聘し、広島大学所蔵の文選資料を巡って共同研究を行った。

研究成果の概要(英文)：This study is based on meticulous research in accordance with the following four study themes: 1) arranging of research results record on WenXuanstudy in Japan, 2) reprinting the texts of old Chinese manuscripts focusing on Kujyo-Bon and Reizenke-Bon and also sorting out their annotation, 3) reviewing WenXuan Shuchu and related literature, and 4) conducting collaborative research with overall overseas and domestic academics on WenXuan. In concrete terms, major research results are as follows: 1) Compiling "the 1993-2011 WENXUAN Research Results Index by Japanese scholars" (digital version) and circulating it to overseas and domestic academics. 2) Referring to the existing old Chinese WenXuan manuscripts in Japan, transliterating the texts and sorting out their annotation.

研究分野：中国文学

キーワード：旧鈔本 文選 集注文選 九条本文選 昭明太子 六朝文学 唐鈔本 東アジア書籍交流史

### 1. 研究開始当初の背景

平安の才女清少納言の『枕草子』に、「文は文集、文選新賦、史記五帝本紀、願文、表、博士の申文」(第211段 池田亀鑑校訂岩波文庫本)と記されているように、中国南朝梁の太子である蕭統(501-531)が編纂した『文選』は、長らく東アジア諸国の知識人層の最も根本的な典籍として尊重されてきた。聖徳太子の「十七条憲法」の出典でもある『文選』は、東アジア諸国の文学のみならず、時代と社会を超え、国家の政治制度の運営から、知識人の美意識にまで深く浸透した重要な書物であることが明らかである。また、近年、申洪哲氏「文選の韓国伝来及びその流行について」(『中国語文学』第8輯〔文選特輯号〕、1984年)、呉曉峰・陳復興氏ら『文選錢氏学研究』(吉林大学出版社、2004年)、小尾郊一氏『沈思と翰藻『文選』の研究』(研文出版、2001年)などの日中韓の学者たちの研究によって、『文選』は、広く東アジア全域の文化交流史の上で、根源的な影響を与えた存在であったことが改めて浮き彫りになってきたのである。

しかし一方、現在の文選学研究は、すでに低調期に入ったのも事実である。その原因については、早くは清水凱夫氏が、『新文選学「文選」の新研究』(研文出版、1999年)に言及されているように、従来の「文選学」は、あくまで「個々の収録作品の注釈・訓詁に重点を置き過ぎた」学問であったため、視野の狭隘化を免れ得なかったのである。これからの研究の重心は、『文選』という書物自体の本質の究明及びその伝承史に関する俯瞰的な研究に移らねばならないのである。また、こうした問題意識が中国においても共通であること、2010年5月、中国文選学会の会長である許逸民氏は、「『新文選学』界説」という論文(『鄭州大学学报哲学社会科学版』2010年第3期)を公表し、学会の総力を上げて衆知を集め、「新文選学」の構築が喫緊の課題である。

### 2. 研究の目的

本研究は、東アジア文化圏の成立経緯を究明する際、最も重視すべき「東アジア文選学史の成立及び日中独自文選学の形成」を研究課題とし、日本に現存する旧鈔本・和刻本などの文選資料群を研究資料とし、日中を中心とする東アジア諸国における文選学の変貌及び受容史に対する総合的な研究を行うものである。本研究の基盤には、申請者がこれまで日中両国の学会及び学術雑誌に発表した一連の研究成果がある。今回の研究では、日中両国の学者が共同提唱する「新文選学」の更なる発展を中核に据えながらも、視野を広め、日中文化史における異なる「文選学」の内実を追究すると同時に、その背景における両国の文学観ないし文化観の異同を明らかにする。

### 3. 研究の方法

本研究は、日本に現存する文選旧鈔本を基礎資料とし、平成24年度から平成26年度に渡って、〔1〕旧鈔本文選周辺資料の整理と研究。〔2〕九条本を中心とする文選旧鈔本の本文及び書き入れ注の整理と翻刻。〔3〕文選集注の成書背景と編纂経緯に関する研究。〔4〕国内外の学者を招聘し、共同研究を行う。という四つの課題に分けて調査及び研究を行った。

### 4. 研究成果

具体的に以下のような成果を得られた。従来整理されていなかった九条本文選の本文及び書き入れ注を整理して翻刻し、その一部を公刊した。なお、未公刊のものに関しては、これから可能な限りに引き続き順次公開してゆく。新資料を発掘し、従来解明されていなかった集注文選(重要文化財)の成書背景及び編纂経緯に関する独自の仮説を提出した。また、日本における独自の文選学の構築とその思想背景に関しても新たな説を提出した。日本旧鈔本資料に基づき、隋唐文選学の形成と展開に関する仮説を提出した。なお、          に関する研究論文は、中国古典文学の権威誌である『文学遺産』(中国社会科学院文学研究所主編)や『域外漢籍研究集刊』(中華書局)に採用され、一定の評価を得られた。海外の学者と連携し、広島大学所蔵の文選資料を中心として共同研究を行った。また、共同研究の成果として学術講演及び論文を公刊した。テレビや新聞などのマスメディアと協力し、本研究によって取得した研究成果の社会還元を努力した。

### 5. 主な発表論文等

(研究代表者、研究分担者及び連携研究者には下線)

〔雑誌論文〕(計31件)

1. 陳翀, 上杉本『史記』の原本形態と渡来時期について 蔵島神社旧蔵本の可能性をめぐって, 『内海文化研究紀要』第43号, 査読無, pp. 1~12, 2015, 内海文化研究所
2. 陳翀, 洪邁の死と『夷堅志』の偽書疑惑 『宋史』洪邁伝に記された卒年をめぐって, 『アジア遊 182 南宋の隠れたベストセラー「夷堅志」の世界』, 査読無, pp. 170~181, 2015, 勉誠出版
3. 陳翀, 「怕春」考 杜甫における文選李善注の受容に関する一考察, 『福岡教育大学国語科研究論集』第56号, 査読有, pp. 25~36, 2015, 福岡教育大学国語国文学会
4. 陳翀, 東亜視野的拡張と古鈔文献学建構 近五年日本中国中世文学研究新動向, 『文史知識』2015年第2期, 査読有, pp. 12~18, 2015, (中国)中華書局
5. 陳翀, 九条本『文選』巻十五(下の二) 本文の翻刻と書入注の整理, 『中国学研究論集』第33号, 査読無, pp. 41~47, 2014, 広島中国文学会

6. 陳翹, 新発見の「長恨歌伝」について, 『中国文学論集』第 43 号, 査読有, pp. 105~114, 2014, 九州大学中国文学会
7. 陳翹, 空海『文筆肝心鈔』之編纂意圖及佚文考, 『域外漢籍研究集刊』第 10 輯, 査読有, pp. 39~56, 2014, (中国) 中華書局
8. 陳翹, 竹添井井『左氏会箋』の序文に見える「剽窃」 島田翰「左氏会箋提要十二編」の行方について, 『中国中世文學研究』第 63・64 合併号, 査読有, pp. 396~410, 2014, 中国中世文學會
9. 陳翹, 九条本『文選』卷十五(下の一) 本文の翻刻と書入注の整理, 『中国学研究論集』第 32 号, 査読無, pp. 1~10, 2014, 広島中国文学会
10. 陳翹, 『集注文選』に関する平安史料の解釈を巡って 日本漢籍受容史に対する一考察, 『中国四国歴史地理学協会年報』第 10 号, 査読無, pp. 20-27, 2014, 中国四国歴史地理学協会
11. 陳翹, 『文鏡秘府論』古鈔六卷本補証以日本中世仏教文献為綫索, 『国際漢学研究通訊』第 8 期, 査読有, pp. 104-110, 2014, (中国) 北京大学出版社
12. 陳翹, 『日本国見在書目録』所見『玉臺新詠集』考, 北京大学国際漢学家研修基地編『国際漢学研究通訊』第 6 期, 査読有, pp. 124-128, 2013, (中国) 北京大学出版社
13. 陳翹, 平清盛の開国と『太平御覧』の渡来 東アジア漢籍交流史に関する一考察, 『崋島研究』第 9 号, 査読無, pp. 8-15, 2013, 広島大学世界遺産・崋島 - 内海の歴史と文化プロジェクト研究センター
14. 陳翹, 九条本『文選』卷十五(上) 本稿の翻刻と書入注の整理, 『中国学研究論集』第 30 号, 査読無, pp. 39-45, 2013, 広島中国文学会
15. 陳翹, 天下無二の重宝 上杉本『史記』(黄善夫刻三家注)の価値について, 『歴博』第 178 号, 査読有, pp. 6, 2013, 国立歴史民俗博物館
16. 陳翹, 日本古文献『江談抄』所見全唐佚詩句輯考, 『中国典籍與文化』2013 年第 4 期(総第 87 期), 査読有, pp. 96-101, 2013, (中国) 教育部全国高等院校古籍整理研究工作委員会
17. 陳翹, 現存『文選集注』残卷非「唐鈔本」考 兼談其部分卷帙の書寫時間及在日本近世の傳播, 『国際漢学研究通訊』第 7 期, 査読有, pp. 137-150, 2013, (中国) 北京大学出版社
18. 陳翹, 『文選集注』李善表卷之復原及作者問題再考, 『文学遺産』2013 年第 4 期, 査読有, pp. 16-25, 2013, (中国) 中国社会科学院文学研究所
19. 陳翹, 清末民國初期《文選集注》相關史料彙考-兼答劉志偉先生質疑, 『域外漢籍研究集刊』第 9 輯, 査読有, pp. 43-62, 2013, (中国) 中華書局
20. 陳翹, 慧萼鈔南禪院本《白氏文集》卷十

- 三復原稿, 『域外漢籍研究集刊』第 9 輯, 査読有, pp. 467-488, 2013, (中国) 中華書局
21. 陳翹, 新見正路と『白氏文集』 『白氏文集題跋』及び『賜蘆書院儲蔵志・白氏文集(附元氏長慶集)』(翻刻), 『白居易研究年報』第 14 号, 査読有, pp. 193-207, 2013, 勉誠出版
22. 陳翹・劉躍進・吳光臣・王秀臣, 『文選』底本及其周辺文学之基礎文献研究, 『広島大学大学院文学研究科論集』第 73 号特輯号, 査読無, pp. 1-71, 2013, 広島大学大学院文学研究科
23. 陳翹, 九条本『文選』卷十五(中) 本稿の翻刻と書入注の整理, 『中国学研究論集』第 31 号, 査読無, pp. 45-53, 2013, 広島中国文学会
24. 陳翹, 『文選』與『白氏文集』, 復旦大学中国古代文学研究中心編『中国文学研究』第 19 輯, 査読有, pp. 170-178, 2012, (中国) 復旦大学出版社
25. 陳翹, 名作の楽しみ方 王之涣の「鶴雀楼を登る詩」について, 『アジア遊学 152 東アジアの短詩形文学』, 査読有, pp. 27-34, 2012, 勉誠出版
26. 陳翹, 白居易「長恨歌」之文本形態及主題新考, 中国唐代文学学会編『唐代文学研究』第 14 期, 査読有, pp. 521-534, 2012, (中国) 広西師範大学出版社
27. 陳翹, 再論唐末五代大規模刻書之可能性 - 以『二中歴』所存「文選篇目」為例, 南京大学域外漢籍研究所編『域外漢籍研究集刊』第 8 輯, 査読有, pp. 279-298, 2012, (中国) 中華書局
28. 陳翹, 辨偽存真: 『文筆眼心抄』古抄卷献疑, 『域外漢籍研究集刊』第 8 輯, 査読有, pp. 155-167, 2012, (中国) 中華書局
29. 陳翹, 中唐における白居易「琵琶引」享受の原風景 その原本形態及び歌唱形式について, 白居易研究会主編『白居易研究年報』第 13 号, 査読有, pp. 71-96, 2012, 勉誠出版
30. 陳翹, 『集注文選』所引の諸注釈書について, 『中国古典文学研究』第 10 号, 査読無, pp. 1-7, 2012, 広島大学中国古典文学プロジェクト研究センター
31. 陳翹, 冷泉家時雨亭蔵旧鈔本『文選』卷二 本稿翻刻と書入注の整理, 『中国学研究論集』第 29 号, 査読無, pp. 17-28, 2012, 広島中国文学会

〔学会発表〕(計 14 件)

1. 陳翹, 何処に蓬萊宮ありや 楊貴妃の行方について, 平成 27 年度福岡教育大学国語国文学研究会, 於福岡教育大学, 2015 年 2 月 14 日
2. 陳翹, 竹添井井『左氏会箋』の序文に見える「剽窃」 兼ねて金沢文庫本『左氏経伝集解』の底本を論ず, 第 51 回東洋史研究会, 於福岡大学, 2014 年 11 月 30 日

3. 陳翹，唐鈔本と旧鈔本，第3回文学研究科FD「人文学の方法とその教育」，於広島大学，2014年10月20日
4. 陳翹，唐代における注疏の成立とその書寫形態 陸德明の『經典釋文・序録』を中心に，「注釈と文学」第一回研究会，於高知大学，2014年4月16日
5. 陳翹，論中国古典文献中的「層累改校」以兩唐書白居易伝及李商隱『墓碑銘』爲例（招待発表），国際ワークショップ「中国中古の学術と文献」，於京都大学人文科学研究所，2014年2月1日
6. 陳翹，教養書としての『夷堅志』 その成書の背景及び創作意図をめぐって，『夷堅志』研究会，於広島大学，2014年1月25日
7. 陳翹，屋代弘賢と『白氏文集』 内閣文庫蔵『管見抄』の抄写者について，013年度「高松宮家伝来書籍を中心とする漢籍読書の歴史とその本文に関する研究」研究会，於国立歴史民俗博物館，2013年11月2日
8. 陳翹，平清盛の天下観と国家像 東アジア海域秩序の再建と『太平御覧』の渡来（講演），広島大学大学院文学研究科・文学部公開講座「リテラ」21世紀の人文学」講座2013，2013年10月19日
9. 陳翹，唐鈔與宋刻の懸隔一以《長恨歌》《琵琶引》の文本變遷爲例（招待講演），於北京大学國際漢学家研究基地（中国），2013年3月19日
10. 陳翹，海に浮かぶ観音の聖地 普陀洛伽山と巖島神社（講演），内海文化研究施設第25回季例会公開講演会，於広島大学，2012年12月10日
11. 陳翹，上杉本『史記』について（招待発表），歴博国際シンポジウム「東アジアをむすぶ漢籍文化 敦煌から正倉院、そして金沢文庫」，於国立歴史民俗博物館，2012年11月2日
12. 陳翹，再論五言詩興於周秦著於兩漢『文心雕龍・明詩篇』「莫見五言」句疏証，記念中国『文心雕龍』学会成立30周年国際学術研討会暨中国『文心雕龍』学会第十二次年会，於山東大学（中国），2013年9月14日
13. 陳翹，『文選集注』李善表卷之復原及作者問題再考，中国文選学会第十屆年会暨成立二十周年国際学術研討会，於河南大学（中国），2012年8月26日
14. 陳翹，唐鈔本と宋刊本との懸隔 『白氏文集』の「四分類」を中心に，「東山の会」六月会，於京都女子大学，2012年6月30日

〔図書〕(計0件)

〔産業財産権〕

出願状況(計0件)

名称：  
発明者：  
権利者：

種類：  
番号：  
出願年月日：  
国内外の別：

取得状況(計0件)

名称：  
発明者：  
権利者：  
種類：  
番号：  
出願年月日：  
取得年月日：  
国内外の別：

〔その他〕  
ホームページ等

6. 研究組織

(1) 研究代表者

陳羽中 (CHEN chong)

広島大学・文学研究科・准教授

研究者番号：50457412

(2) 研究分担者

( )

研究者番号：

(3) 連携研究者

( )

研究者番号：